

科目	リハビリテーション医学	担当	安倍 基幸	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

リハビリ医学は実践的臨床医学の一つであり、各種の幅広い疾患と様々な障害に対して急性期より介入するものである。その介入手段は理学療法、作業療法にとどまらず、薬物療法、義肢装具療法、観血的治療、ブロック療法など多岐にわたる。検査も各種造影検査、超音波検査、電気生理学的検査なども行われている。このためリハビリテーション医学の診断、検査、評価、治療の進め方と同時に、リハビリ医療は「急性期からリスクを管理しながら行う」ことの重要性を理解することを授業の目標とする。到達目標は、受講者は各疾患の評価とリハビリテーションの進め方の基本を身につけることである。

【履修注意】

講義内容や順番が変更される場合もある。遅刻や授業中の私語は無いようにする。

【評価方法】

筆記試験, 出席状況で評価する。

【試験について】

筆記試験をおこなう。期末試験の受験資格は出席2/3以上とする。

再試験対象者の条件: 成績が60点未満の者

【予習・復習】

予習は要しないが、復習は要する。重要なポイントを毎回列挙するのでそこを重点的に学習する。

【教科書】

教科書は指定しない。

【参考書】

講義資料を配布する。WBT上に配布資料をカラー版でアップする。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	リハビリテーション医学総論	概論・障害学・対象疾患・治療手段
2	リハビリテーション医学総論	廃用症候群・各種評価法
3	脳卒中のリハビリ1	脳卒中・病態と基礎
4	脳卒中のリハビリ2	脳卒中・リハビリ・高次脳機能障害
5	中枢性変性疾患のリハビリ	パーキンソン病・脊髄小脳変性症・ALS
6	脊髄損傷1	脊髄損傷・病態・基礎
7	脊髄損傷2	脊髄損傷・リハビリ・自律神経障害
8	末梢神経障害のリハビリ	末梢神経障害・病態・評価
9	関節リウマチのリハビリ	関節リウマチ・病態・
10	骨関節疾患のリハビリ	骨折・変形性関節症・脊椎疾患
11	切断と義肢	切断・代表的義肢
12	脳性麻痺のリハビリ	脳性麻痺・2分脊椎・小児疾患・病態
13	呼吸・循環器疾患のリハビリ	呼吸器疾患・心筋梗塞後・病態・リハビリ
14	痛み、癌のリハビリ	CRPS・癌の病態
15	嚥下障害のリハビリ	嚥下障害・病態・評価・治療手段
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ